

## 学校プールで地元開催の国スポ種目を体験 中学生がカヌー体験

令和10年(2028年)に「信州やまなみ国スポ」のカヌー競技(スプリント)が北竜湖で開催されることから、地元選手の発掘などを目的に、長野県カヌー協会によるカヌー体験会が城南中学校と城北中学校で8月下旬〜9月上旬に行われました。

体験会では、両校の1学年および2学年生徒が、長野県カヌー協会の指導者の手ほどきで実際にカヌーを体験。参加した生徒からは「とても楽しい」「自分もカヌー競技をやってみたい」などの声が聞かれました。

飯山市では引き続き、国スポカヌー競技開催に向けて、選手発掘・育成を長野県カヌー協会とともに進めていきます。



学校プールでカヌーを体験する城南中学校生徒の皆さん

## 皆さんのご意見・提案をお聞かせください 「飯山市子ども・子育て会議」公募委員を募集

飯山市では、子ども子育て施策の合議の場として「飯山市子ども・子育て会議」を設置しています。この会議では、5年を1期とする「飯山市子ども・子育て支援事業計画」の策定・変更について意見をいただき、子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進について、実施状況を調査・審議する役割を担っています。広く市民の皆様

様の声を反映させるため、公募委員を募集します。

▽応募資格(次の要件すべてに該当する方)

- 1) 飯山市に住民登録している20歳以上の方
- 2) 他の審議会等の公募による委員に選任されていない方
- 3) 飯山市の議会議員または職員でない方
- 4) 市税等を滞納していない方

▽募集人員 3名

▽受付期限 11月11日(月)まで  
▽任期 2年間(令和8年11月30日まで)

▽報酬 市条例で定める額

▽申込手続 子ども育成課窓口(市役所3階)にある応募申込書に必要事項を記入のうえ、持参、郵送、電子メールまたはFAX(6215990)で提出。応募申込書はホームページからもダウンロード可。

■お問い合わせ  
子ども育成課子育て支援係  
Tel.67-0741(課代表)

## 今年も「飯山・栄チーム」として出場 長野県縦断駅伝大会が開催されます



昨年出場時の「飯山・栄チーム」の選手・スタッフの皆さん

第73回長野県縦断駅伝競走大会が11月24日(日)に開催されます。昨年、飯山市は「飯山・栄チーム」として出場し、12位という成績をおさめました。今大会も、大会規定に定められた参加標準記録を突破する選手数を確保できる見込みとなり、昨年に引き続き「飯山・栄チーム」として参加できることとなりました。

大会は長野市の信濃毎日新聞本社前をスタート、しんきん諏訪湖スタジアムをゴールとする14区間で開催されます。飯山・栄チームは、若い世代を中心に昨年を上回る成績を目指して奮闘を凝らします。皆さんの声援をお願いします。

■お問い合わせ  
スポーツ推進課  
Tel.67-0746(課代表)

## 第52回 差別のない明るい飯山市を築く市民大会

- 期日 10月26日(土) 午後1時30分~3時50分
  - 会場 飯山市文化交流館なちゅら 大ホール
  - 内容
    - ・講演「アフリカ少年が日本で育った結果」(講師:星野ルネさん(タレント、漫画家))
    - ・大会宣言
    - ・市内小中学校児童生徒による作文発表、人権ポスターの展示、作文・標語作品集の配布
- お問い合わせ 人権政策課 Tel.67-0743(課代表)



## 飯山市の新しいALT カルロ先生とキャサリン先生着任

市内小学校で英語の授業を担当するALT(外国語指導助手)として、カルロ・ヴァデューゴ・ヘスス先生(アメリカ出身)、メリル・キャサリン・アン先生(イギリス出身)が着任し、江沢市長と懇談しました。カルロ先生は常盤小学校・泉台小学校・飯山小学校で、キャサリン先生は飯山小学校、戸狩小学校、東小学校で英語の授業を担当されます。

飯山市では小中学校の児童生徒の皆さんに生きた英語を学んでいただくため、計5名のALTを各小中学校に配置しています。

■お問い合わせ  
子ども育成課学校教育係  
Tel.67-0741(課代表)



カルロ先生(左)とキャサリン先生(右)

## 令和6年度全国学力・学習状況調査 結果概要をお知らせします

全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導方法の改善や教育施策の改善・充実につなげることを目的に毎年実施されています。本年度は、4月18日に小学校6年生、及び中学校3年生を対象に国語科、算数・数学科の2教科で実施されました。

小学校では、国語科で全国平均を4.8ポイント程度、算数科で全国平均を4.6ポイント程度下回るという厳しい結果となりました。

中学校では、国語科で全国平均を1.6ポイント程度、数学科で全国平均を2ポイント程度上回り、授業改善の成果が大きく表れてきています。

### 令和6年度全国学力・学習状況調査結果概要(飯山市と全国と比較)

学校別	教科	全国	飯山市
小学校6年生	国語	67.8	63
	算数	63.6	59
中学校3年生	国語	58.4	60
	数学	53.0	55

※全国平均正答率は小数第一位、市平均は整数値で公表(単位:%)

このような結果を踏まえ、小学校高学年の教科担任制を取り入れたり、市全体で取り組む小学校学年会、中学校教科会による授業改善を大切にしたりし、結果分析をもとにした授業づくりを進めているところです。特に、個の学習から生まれた「問い」をもとに、ICTの活用や児童生徒同士の協働学習等により、課題解決できる力を育むための授業を創っていきたくと考えています。

■お問い合わせ  
子ども育成課学校教育係  
Tel.67-0741(課代表)

## 人権学習 シリーズ

### 傷つける言葉と元気をくれる言葉の中で 飯山市人権同和男女共同参画地域推進員会 会長

高澤 寛

「人生はあなたが思うほど悪くない」という言葉を、どこかで聞いたことはありませんか。この頃テレビコマーシャルがよく耳にするので、ご存知の方も多いと思います。これは私の大好きな言葉です。こういった心を元気にする言葉は、グッドフレーズといわれています。

最近、私は正岡子規が死の直前に、留学中の夏目漱石に宛てた手紙を目にしました。それは「僕はとても君に再会することは出来ぬ。実は僕は生きてるのが苦しいのだ」というものでした。ショックでした。何だか私のグッドフレーズが薄っぺらに思えたのです。

子規は結核という身体の病気で死したが、私たちの周りには心を傷つけられて苦しんでいる人が数多くいます。差別的な言葉がSNSで拡散したり、ハラスメントを受けたりしているのです。この苦悩をふりまいてくれるものは、特定又は不特定の人間です。相手人間であるということ

が、この種の苦悩の解決を一層難しくしています。その心ない一言に傷つき悩み、命を絶つ人さえいるのです。

心が傷ついたら一人で抱え込まずに、まずはその痛みを訴えることです。父母でも友人でも、行政でも、誰でもかまいません。そしてもうひとつ、その苦しさに潰されないように、自分で自分を励ますことも大切です。身のまわりの言葉の中から、自分を支えてくれるものを探すのも、そのひとつです。

どうして私はグッドフレーズを薄っぺらだと思ったのでしょうか。生きる事がつらい人の苦しみを、一気に取り去る言葉などあるはずがないというのに。苦しさに喘いでいる心にちよっと息をさせてあげる、それがグッドフレーズの力です。ふっと緊張がほぐれる、それで十分だったのです。それにしても、どうして私たちの社会はこれほど疲弊してしまったのでしょうか。